

Russell/Nomura 日本株インデックス パフォーマンス・レビュー

2008年11月は、マイナス基調の中、小型が優勢

Russell/Nomura Prime 指数(米ドル建て)は前月比-1.94%であった。リビジョン・インデックスは先月より大幅に下落し-50.32となった。

- ▶ **【小型が優勢】**2008年11月のRussell/Nomura Prime 指数(米ドル建て)は、前月比-1.94%の下落を示した。Russell/Nomura Total Value 指数とRussell/Nomura Total Growth 指数のリターン・スプレッド(円建て)は+0.08%となり、Value-Growthのスタイル格差はなかった。また、Russell/Nomura Small Cap 指数とRussell/Nomura Large Cap 指数のリターン・スプレッド(円建て)は+5.24%となり、先月よりさらに小型優勢の傾向を強く示した。
- ▶ **【リビジョン・インデックスは-50.32】**個別銘柄の業績修正動向を示すリビジョン・インデックスは-50.32となった。先月の水準を大幅に下回り、13カ月連続でマイナスとなった。
- ▶ **【パルプ・紙のパフォーマンスが良好】**Russell/Nomura Prime 指数における業種別月次リターンではパルプ・紙が最上位であった。次いで、鉱業、サービス業の月次リターンが高かった。
- ▶ **【ソフトバンク(9984)の寄与度が高い】**Russell/Nomura Prime 指数構成銘柄で見た寄与度ランキングでは、ソフトバンク(9984)が最上位であった。一方、最下位(マイナス寄与度が最も大きい銘柄)はトヨタ自動車(7203)であった。

2008年12月2日
クオンツレポート

スタイル別月次ランキング(円建て・配当込み)

順位	200504	200505	200506	200507	200508	200509	200510	200511	200512	200601	200602	200603	
1	小型 -2.77	コア 2.49	小型 4.18	小型 3.25	割安 6.42	割安 13.04	小型 5.71	成長 8.65	小型 10.19	割安 4.67	割安 -1.11	小型 5.51	
2	コア -4.28	成長 1.87	市場 2.90	成長 2.25	コア 6.13	コア 12.99	割安 2.44	コア 7.48	成長 9.32	コア 4.42	コア -1.17	成長 4.82	
3	市場 -4.31	割安 1.77	割安 2.76	市場 2.21	市場 5.67	市場 12.01	市場 2.09	市場 6.63	市場 7.40	市場 3.71	市場 -2.58	市場 4.73	
4	成長 -4.45	市場 1.62	成長 2.70	コア 2.11	成長 5.60	成長 11.90	コア 1.08	小型 5.67	コア 6.35	成長 3.06	成長 -2.89	割安 4.33	
5	割安 -4.50	小型 -0.18	コア 2.31	割安 1.88	小型 2.49	小型 7.73	成長 0.77	割安 5.00	割安 4.61	小型 2.86	小型 -6.87	コア 4.18	
順位	200604	200605	200606	200607	200608	200609	200610	200611	200612	200701	200702	200703	
1	コア 0.38	割安 -7.54	コア 1.55	コア 0.95	小型 4.77	成長 -0.85	コア 1.61	コア -0.50	コア 5.91	割安 3.47	割安 2.98	割安 -1.00	
2	割安 0.17	市場 -7.90	成長 1.14	割安 -0.24	成長 4.11	市場 -0.97	成長 1.09	成長 -0.60	割安 5.46	小型 3.06	コア 1.99	小型 -1.41	
3	市場 -0.70	成長 -7.94	市場 0.61	成長 -0.56	市場 4.07	割安 -1.08	市場 0.61	市場 -0.80	成長 5.03	コア 2.57	市場 1.78	市場 -1.60	
4	成長 -1.20	コア -8.03	割安 0.53	市場 -0.91	コア 3.86	小型 -1.25	割安 0.56	割安 -0.88	市場 4.99	市場 2.39	小型 1.09	コア -1.94	
5	小型 -2.07	小型 -9.24	小型 -1.44	小型 -5.44	割安 3.82	コア -1.32	小型 -1.49	小型 -1.69	小型 3.10	成長 1.22	成長 0.82	成長 -2.23	
順位	200704	200705	200706	200707	200708	200709	200710	200711	200712	200801	200802	200803	
1	成長 -0.13	コア 5.16	小型 2.12	小型 -3.58	成長 -4.48	割安 1.63	小型 1.91	コア -5.15	割安 -2.52	割安 -7.66	成長 -0.63	小型 -4.06	
2	市場 -0.67	成長 4.06	成長 1.46	成長 -3.65	市場 -5.53	コア 1.50	市場 0.29	成長 -5.23	コア -3.28	小型 -8.67	小型 -1.08	市場 -7.58	
3	コア -0.94	市場 3.25	市場 1.19	市場 -3.87	コア -5.94	成長 1.25	成長 0.18	市場 -5.44	市場 -3.49	コア -8.76	コア -1.33	成長 -7.85	
4	小型 -0.97	割安 3.25	割安 0.72	コア -4.10	割安 -6.30	市場 1.22	割安 -0.06	割安 -5.44	成長 -4.03	市場 -9.12	市場 -1.49	割安 -8.47	
5	割安 -1.25	小型 -0.04	コア 0.65	割安 -4.15	小型 -7.20	小型 -0.48	コア -0.27	小型 -6.48	小型 -4.70	市場 -10.7	割安 -2.39	コア -9.12	
順位	200804	200805	200806	200807	200808	200809	200810	200811	投資スタイルと対応指数				
1	コア 15.19	成長 5.22	小型 -5.26	割安 -0.21	割安 -3.34	割安 -10.3	小型 -16.4	小型 0.82	市場	Russell/Nomura Prime			
2	割安 13.93	小型 3.92	割安 -6.14	小型 -0.89	市場 -3.54	小型 -11.3	成長 -20.3	市場 -3.66	コア	Russell/Nomura Top Cap			
3	市場 11.93	コア 3.83	コア -6.28	市場 -1.40	小型 -3.58	市場 -13.0	市場 -20.3	成長 -4.18	割安	Russell/Nomura Large Cap Value			
4	成長 11.56	市場 3.64	市場 -6.31	コア -1.49	コア -3.82	コア -14.0	コア -20.7	割安 -4.65	成長	Russell/Nomura Large Cap Growth			
5	小型 6.62	割安 2.08	成長 -6.70	成長 -2.77	成長 -3.85	成長 -16.2	割安 -21.4	コア -7.61	小型	Russell/Nomura Small Cap			

(注) リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村證券金融工学研究センター

カテゴリー

インデックス・リサーチ

野村證券
金融工学研究センター

片山 智代
田村 浩道

03-3274-1079

katayama-1q31@jp.nomura.com

野村證券株式会社 金融工学研究センター 〒100-8130 東京都千代田区大手町2-2-2 アーバンネット大手町ビル

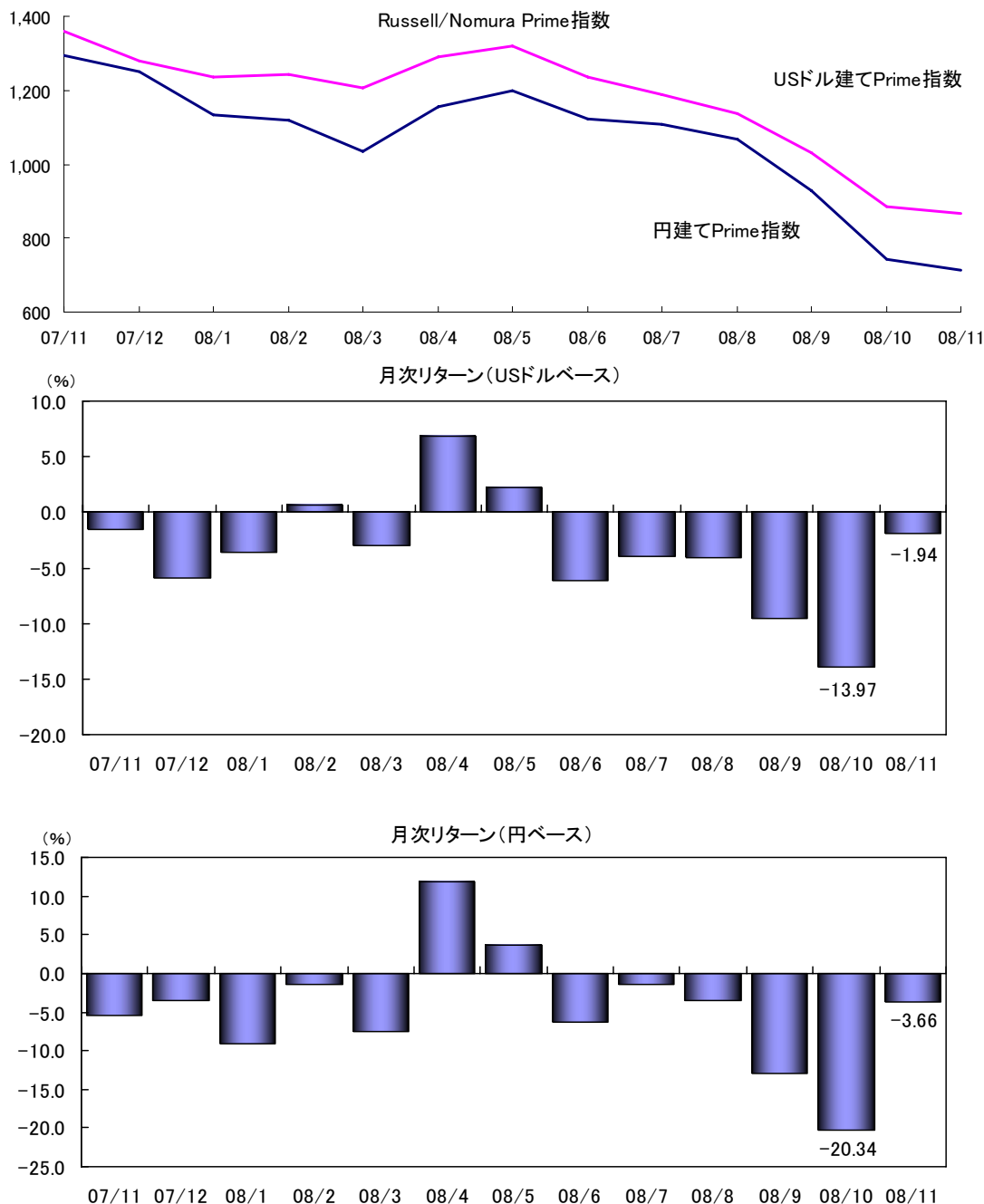
このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。このレポートには、野村證券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村證券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村證券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村證券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村證券に帰属しており、電子的または機械的方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

1. Russell/Nomura 日本株インデックスパフォーマンス概況

**08年11月のPrime
指数(米ドル建て)は、
-1.94%の下落**

2008年11月における、日本株式市場の動きを示す Russell/Nomura Prime 指数(米ドル建て)は前月比-1.94%の下落となった。円建てベースでは、前月比-3.66%の下落であった。2008年11月末時点の為替レート(月末終値、出所：日本銀行)は2008年10月末時点の97.01円から、95.31円となった。

図表1 Russell/Nomura Prime 指数月次パフォーマンス



(注) リターンは配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融工学研究センター

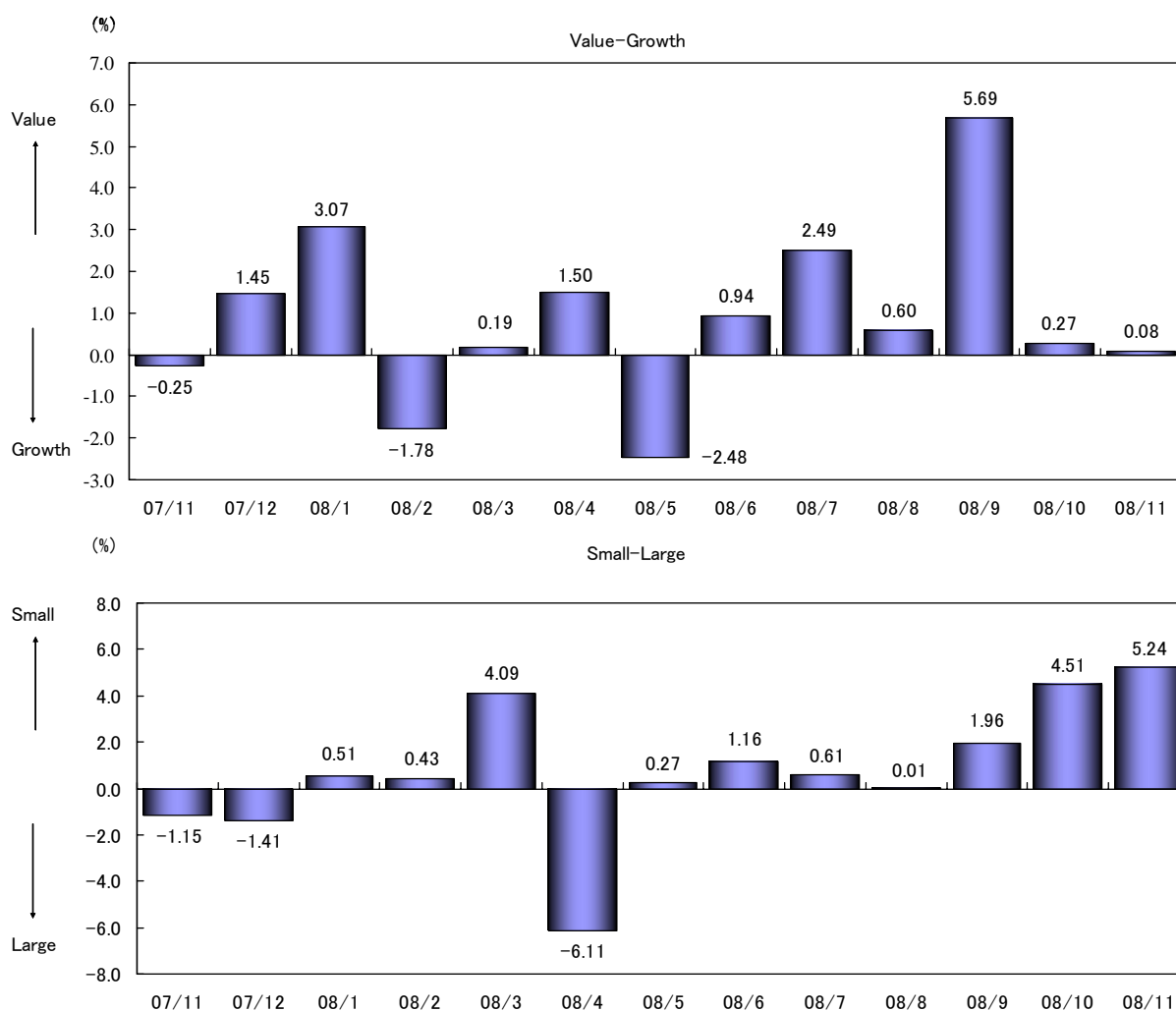
このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします

小型が優勢

図表2は、スタイル別のリターン・スプレッド(円建て)の月次推移を示している。また、図表3は、市場、コア(時価総額上位50%以上)、割安(大型・バリュース株)、成長(大型・グロース株)、小型といった5つのスタイル区分による月次リターン(円建て)のランキングを表している。

2008年11月は、依然マイナス基調ではあるが、先月より下落幅が改善した。スタイル別で見ると、小型が最も良好なパフォーマンスを示した(図表3)。バリュー・グロースの比較で見ると、グロース株が-3.59%であったのに対し、バリュース株は-3.51%であった。これより、バリュース株とグロース株のリターン・スプレッドは、+0.08%となり、バリュー・グロースのスタイル格差はほぼなかったといえる。一方、小型・大型の比較で見ると、大型株が-4.42%であったのに対し、小型株は0.82%であった。これより、小型株と大型株のリターン・スプレッドは、+5.24%となり、先月よりさらに小型優位の傾向が強まった(図表2)。

図表2 リターン・スプレッドの月次推移



(注) Value-GrowthはValueとGrowthのリターンの差、Small-LargeはSmallとLargeのリターンの差である。

リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

図表3 スタイル別月次ランキング(円建て・配当込み)

順位	200504	200505	200506	200507	200508	200509	200510	200511	200512	200601	200602	200603
1	小型 -2.77 コア	2.49 小型	4.18 小型	3.25 割安	6.42 割安	13.04 小型	5.71 成長	8.65 小型	10.19 割安	4.67 割安	-1.11 小型	5.51
2	コア -4.28 成長	1.87 市場	2.90 成長	2.25 コア	6.13 コア	12.99 割安	2.44 コア	7.48 成長	9.32 コア	4.42 コア	-1.17 成長	4.82
3	市場 -4.31 割安	1.77 割安	2.76 市場	2.21 市場	5.67 市場	12.01 市場	2.09 市場	6.63 市場	7.40 市場	3.71 市場	-2.58 市場	4.73
4	成長 -4.45 市場	1.62 成長	2.70 コア	2.11 成長	5.60 成長	11.90 コア	1.08 小型	5.67 コア	6.35 成長	3.06 成長	-2.89 割安	4.33
5	割安 -4.50 小型	-0.18 コア	2.31 割安	1.88 小型	2.49 小型	7.73 成長	0.77 割安	5.00 割安	4.61 小型	2.86 小型	-6.87 コア	4.18
順位	200604	200605	200606	200607	200608	200609	200610	200611	200612	200701	200702	200703
1	コア 0.38 割安	-7.54 コア	1.55 コア	0.95 小型	4.77 成長	-0.85 コア	1.61 コア	-0.50 コア	5.91 割安	3.47 割安	2.98 割安	-1.00
2	割安 0.17 市場	-7.90 成長	1.14 割安	-0.24 成長	4.11 市場	-0.97 成長	1.09 成長	-0.60 割安	5.46 小型	3.06 コア	1.99 小型	-1.41
3	市場 -0.70 成長	-7.94 市場	0.61 成長	-0.56 市場	4.07 割安	-1.08 市場	0.61 市場	-0.80 成長	5.03 コア	2.57 市場	1.78 市場	-1.60
4	成長 -1.20 コア	-8.03 割安	0.53 市場	-0.91 コア	3.86 小型	-1.25 割安	0.56 割安	-0.88 市場	4.99 市場	2.39 小型	1.09 コア	-1.94
5	小型 -2.07 小型	-9.24 小型	-1.44 小型	-5.44 割安	3.82 コア	-1.32 小型	-1.49 小型	-1.69 小型	3.10 成長	1.22 成長	0.82 成長	-2.23
順位	200704	200705	200706	200707	200708	200709	200710	200711	200712	200801	200802	200803
1	成長 -0.13 コア	5.16 小型	2.12 小型	-3.58 成長	-4.48 割安	1.63 小型	1.91 コア	-5.15 割安	-2.52 割安	-7.66 成長	-0.63 小型	-4.06
2	市場 -0.67 成長	4.06 成長	1.46 成長	-3.65 市場	-5.53 コア	1.50 市場	0.29 成長	-5.23 コア	-3.28 小型	-8.67 小型	-1.08 市場	-7.58
3	コア -0.94 市場	3.25 市場	1.19 市場	-3.87 コア	-5.94 成長	1.25 成長	0.18 市場	-5.44 市場	-3.49 コア	-8.76 コア	-1.33 成長	-7.85
4	小型 -0.97 割安	3.25 割安	0.72 コア	-4.10 割安	-6.30 市場	1.22 割安	-0.06 割安	-5.44 成長	-4.03 市場	-9.12 市場	-1.49 割安	-8.47
5	割安 -1.25 小型	-0.04 コア	0.65 割安	-4.15 小型	-7.20 小型	-0.48 コア	-0.27 小型	-6.48 小型	-4.70 成長	-10.7 割安	-2.39 コア	-9.12
順位	200804	200805	200806	200807	200808	200809	200810	200811	投資スタイルと対応指数			
1	コア 15.19 成長	5.22 小型	-5.26 割安	-0.21 割安	-3.34 割安	-10.3 小型	-16.4 小型	0.82	市場	Russell/Nomura Prime		
2	割安 13.93 小型	3.92 割安	-6.14 小型	-0.89 市場	-3.54 小型	-11.3 成長	-20.3 市場	-3.66	コア	Russell/Nomura Top Cap		
3	市場 11.93 コア	3.83 コア	-6.28 市場	-1.40 小型	-3.58 市場	-13.0 市場	-20.3 成長	-4.18	割安	Russell/Nomura Large Cap Value		
4	成長 11.56 市場	3.64 市場	-6.31 コア	-1.49 コア	-3.82 コア	-14.0 コア	-20.7 割安	-4.65	成長	Russell/Nomura Large Cap Growth		
5	小型 6.62 割安	2.08 成長	-6.70 成長	-2.77 成長	-3.85 成長	-16.2 割安	-21.4 コア	-7.61	小型	Russell/Nomura Small Cap		

(注) 単位は%。リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

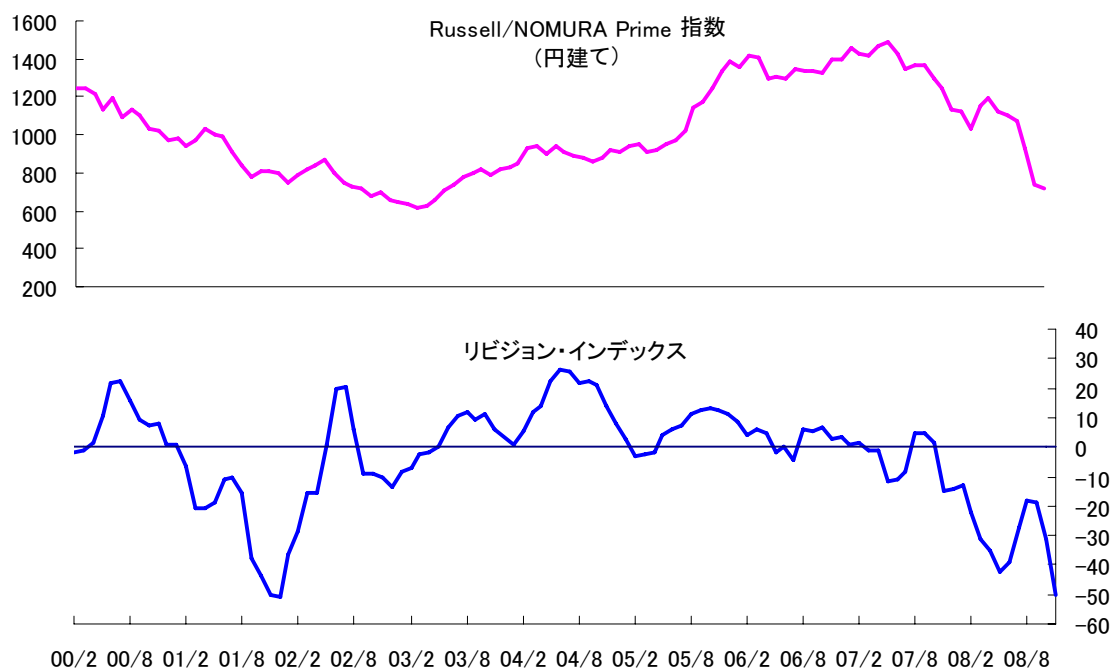
(出所) 野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります、また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

リビジョン・インデックスは-50.32となり、先月より大幅に低下

Russell/Nomura Total Market 指数を構成する銘柄の業績修正動向を示すリビジョン・インデックスを見ると（図表4）、2008年11月は-50.32となった。上方修正銘柄数が177銘柄、下方修正銘柄数は808銘柄であった。下方修正銘柄数が先月よりさらに増え、上方修正の銘柄数が下方修正銘柄数を大きく下回る結果となった。

図表4 リビジョン・インデックスとパフォーマンス



	リビジョン インデックス	上方修正 銘柄数	下方修正 銘柄数
2008年11月	-50.32	177	808
2008年10月	-30.94	212	642

（注）リビジョン・インデックスとは、 $(\text{上方修正銘柄数} - \text{下方修正銘柄数}) / \text{有効銘柄数} \times 100$ で算出される業績の修正動向を示す指数である。2008年11月の有効銘柄数は1,254銘柄。業績予想は野村及び東洋経済が予想する連結・経常利益を用いている。ここでは、母集団をRussell/Nomura Total Market 指数に含まれる全銘柄とし、月末業績予想値と前四半期中に発表された最終業績予想値の比較に基づいて算出している

（出所）野村証券金融工学研究センター

2. 業種別パフォーマンス・レビュー

パルプ・紙のパフォーマンスが良好

Prime 指数において、2008年11月のパフォーマンスが最も良かった業種は、パルプ・紙であった。同業種の前月比の月次リターンは+22.52%であった。次いで、先月大きく下落した鉱業(+9.51%)、サービス業(+8.08%)の月次リターンが高かった。業種別パフォーマンスにおいては、3カ月ぶりに上位10業種のリターンがプラスとなった。一方、パフォーマンスが最も悪化したのは輸送用機器で、前月比の月次リターンは-16.85%であった。次いで、その他金融業(-15.60%)、証券・商品先物取引業(-14.43%)などの月次リターンが低かった。(図表5)。

図表 5. Russell/Nomura 業種別パフォーマンス(上位・下位 10 業種)

指数	Prime	-3.66	Large Value	-4.65	Large Growth	-4.18	Small	0.82
上位業種	Prime		Large Value		Large Growth		Small	
	1 パルプ・紙	22.52	パルプ・紙	22.61	サービス業	13.30	パルプ・紙	19.54
	2 鉱業	9.51	機械	11.44	非鉄金属	11.70	医薬品	8.50
	3 サービス業	8.08	海運業	10.94	鉱業	10.07	倉庫・運輸関連業	7.53
	4 機械	7.06	食料品	10.32	情報・通信業	9.91	情報・通信業	4.95
	5 情報・通信業	6.57	金属製品	8.55	石油・石炭製品	8.21	ガラス・土石製品	4.20
	6 繊維製品	4.67	繊維製品	7.65	機械	7.88	小売業	3.99
	7 非鉄金属	4.53	化学	6.33	海運業	5.77	繊維製品	3.83
	8 倉庫・運輸関連業	3.90	サービス業	5.04	繊維製品	4.83	建設業	3.69
	9 海運業	3.85	陸運業	4.16	電気・ガス業	3.36	サービス業	3.60
10 陸運業	3.43	情報・通信業	4.08	陸運業	3.26	鉱業	3.51	
下位業種	Prime		Large Value		Large Growth		Small	
	1 輸送用機器	-16.85	不動産業	-20.96	その他金融業	-40.16	海運業	-17.07
	2 その他金融業	-15.60	輸送用機器	-18.94	輸送用機器	-14.55	輸送用機器	-7.81
	3 証券・商品先物取引業	-14.43	証券・商品先物取引業	-18.12	卸売業	-13.50	精密機器	-6.42
	4 保険業	-13.53	精密機器	-16.46	不動産業	-12.80	石油・石炭製品	-4.90
	5 不動産業	-11.80	保険業	-14.03	証券・商品先物取引業	-12.75	保険業	-4.35
	6 卸売業	-10.38	その他金融業	-12.46	金属製品	-10.28	証券・商品先物取引業	-4.17
	7 電気機器	-9.28	電気機器	-10.66	保険業	-9.53	不動産業	-2.56
	8 精密機器	-8.09	卸売業	-9.85	化学	-9.15	鉄鋼	-2.54
	9 ガラス・土石製品	-5.01	ガラス・土石製品	-7.24	電気機器	-9.04	化学	-2.51
10 化学	-4.73	空運業	-6.97	精密機器	-7.58	機械	-2.15	

(注) 単位は (%)。リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

3. 個別銘柄パフォーマンス・レビュー

寄与度最上位はソフトバンク (9984)、最下位はトヨタ自動車 (7203)

個別銘柄の各指数へのパフォーマンス寄与度をランキングし、その結果に基づき、上位・下位5社を示したのが図表6である。なお、月次リターンは、円建てベースで示した。

Russell/Nomura Prime 指数を構成する銘柄のうち、ソフトバンク (9984) が+0.123%と最も高い寄与度を示し、月次リターンは前月比+37.05%となった。次いで高い寄与度を示したのは、三菱重工業 (7011) で+0.118%、日本電信電話 (9432)で+0.105%であった。寄与度上位の銘柄は、所属業種全体のパフォーマンス改善にも貢献した。一方、マイナスの寄与度が最も大きかったのは、トヨタ自動車 (7203) で-0.796%、月次リターンは前月比-19.57%であった。次いで、パナソニック (6752) で-0.382%、月次リターンは前月比-24.34%であった。

図表6 個別銘柄パフォーマンス寄与度上位・下位5社

		Prime:-3.66%		Top:-7.61%			
		寄与度(%)	リターン(%)	寄与度(%)	リターン(%)		
上位銘柄	1	9984 ソフトバンク	0.123	37.05	9984 ソフトバンク	0.235	37.05
	2	7011 三菱重工業	0.118	24.84	7011 三菱重工業	0.226	24.84
	3	9432 日本電信電話	0.105	5.87	9432 日本電信電話	0.200	5.87
	4	9735 セコム	0.084	20.38	8411 みずほフィナンシャルグループ	0.146	6.90
	5	8411 みずほフィナンシャルグループ	0.076	6.90	9020 東日本旅客鉄道	0.139	6.06
下位銘柄	1	7203 トヨタ自動車	-0.796	-19.57	7203 トヨタ自動車	-1.519	-19.57
	2	6752 パナソニック	-0.382	-24.34	6752 パナソニック	-0.729	-24.34
	3	8306 三菱UFJフィナンシャル・グループ	-0.345	-12.88	8306 三菱UFJフィナンシャル・グループ	-0.658	-12.88
	4	7751 キヤノン	-0.314	-15.42	7751 キヤノン	-0.599	-15.42
	5	8058 三菱商事	-0.272	-26.08	8058 三菱商事	-0.519	-26.08

		Large-V:-4.65%		Large-G:-4.18%		Small:0.82%				
		寄与度(%)	リターン(%)	寄与度(%)	リターン(%)	寄与度(%)	リターン(%)			
上位銘柄	1	9432 日本電信電話	0.239	5.87	9984 ソフトバンク	0.297	37.05	6674 ジーエス・ユアサ コーポレーション	0.099	51.23
	2	7011 三菱重工業	0.226	24.84	9735 セコム	0.202	20.38	4540 ツムラ	0.099	22.65
	3	8411 みずほフィナンシャルグループ	0.160	6.90	9020 東日本旅客鉄道	0.176	6.06	8697 大阪証券取引所	0.090	37.30
	4	8308 リソナホールディングス	0.159	33.53	9433 KDDI	0.141	6.53	3591 ワコールホールディングス	0.078	23.29
	5	9503 関西電力	0.119	5.51	5713 住友金属鉱山	0.129	25.94	4508 田辺三菱製薬	0.074	16.55
下位銘柄	1	7203 トヨタ自動車	-0.905	-19.57	7203 トヨタ自動車	-0.960	-19.57	8593 三菱UFJリース	-0.082	-31.36
	2	6752 パナソニック	-0.868	-24.34	7751 キヤノン	-0.758	-15.42	2875 東洋水産	-0.074	-11.33
	3	8306 三菱UFJフィナンシャル・グループ	-0.784	-12.88	4063 信越化学工業	-0.636	-28.21	7915 日本写真印刷	-0.074	-17.35
	4	8766 東京海上ホールディングス	-0.513	-21.26	8058 三菱商事	-0.485	-26.08	6728 アルバック	-0.073	-48.51
	5	7267 本田技研工業	-0.512	-13.13	8802 三菱地所	-0.387	-16.81	6965 浜松ホトニクス	-0.072	-16.89

(注) リターンは円建て・配当込みのものである。

寄与度とは前月末インデックス内構成ウエイト×月次リターン(%)で算出される値。

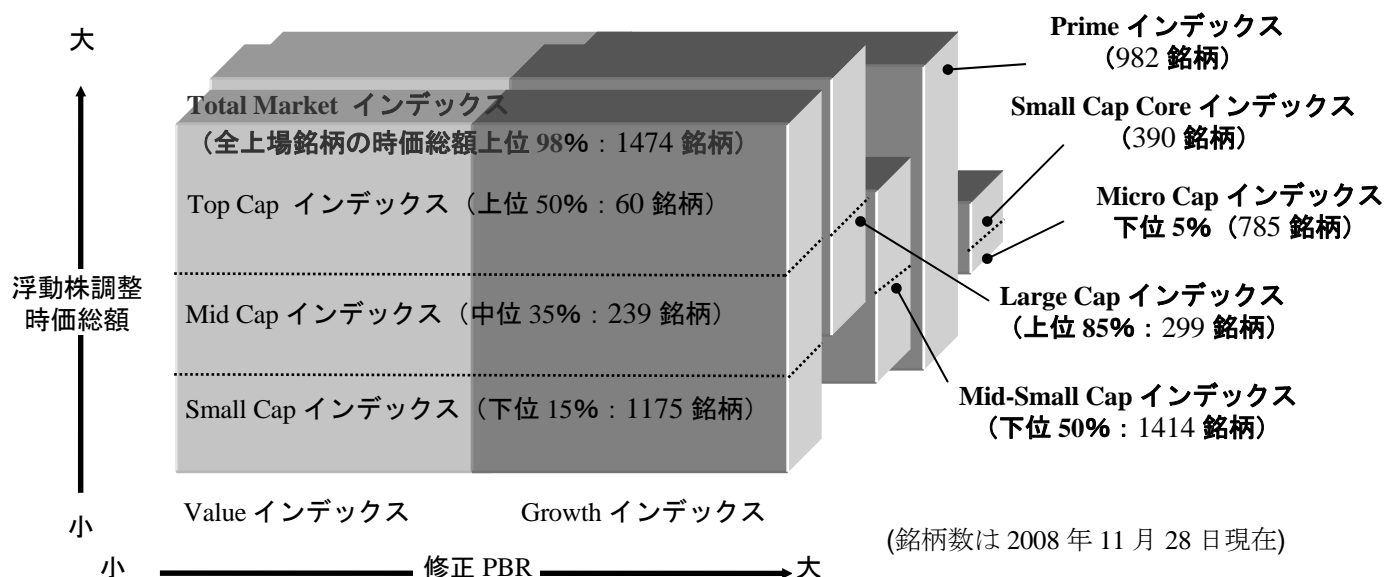
(出所) 野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

Q&A Russell/Nomura 日本株インデックスについて

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスって何ですか？

A: Russell/Nomura 日本株インデックスは米国、フランクラッセルカンパニーと野村証券金融工学研究センターが共同開発した日本株式投資スタイルベンチマークです。



この他に 33 業種別インデックス (Total Market、規模別、Value、Growth、Prime) も用意されております。なお、規模別インデックスの分類指標は、安定持ち株控除後の時価総額です。Value/Growth インデックスの分類指標は、自己資本の含みを修正した修正 PBR です。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスのルールブックはどこにありますか？

A: http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/docs/RN_rule200808.pdf
をご覧ください。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスのデータを見たいのですが、どこで公表していますか？

A: 以下の情報端末でご覧いただけます。

Bloomberg	: RNJI
時事通信	: SQ21、SQ22、SQ23、SQ24
QUICK	: NRIJ500~504、510~517
REUTERS	: FRCNRI01、FRCNRI02、FRCNRI03、FRCNRI04
INTERNET	: http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html

なお、<http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html> からは、最新のインデックスリターン、構成銘柄、構成銘柄の変更などをご覧いただけます。

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります、また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスのデータが欲しいのですが？

A: インデックスリターン、インデックス個別銘柄時価総額ウェイト、個別銘柄情報については、
<http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html> からダウンロードできます。QUICK、REUTERS、Bloomberg
においても一部に限られますが、データを取得できます。それ以外に関しましては、下記の連絡先
にお問い合わせください。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスについて英語の資料が欲しいのですが？

A: <http://qr.nomura.co.jp/en/frcnri/index.html> をご覧ください。

上記以外の Russell/Nomura 日本株インデックスに関するお問い合わせ先

徳野 明洋・平野 由美子：idx_mgr@frc.nomura.co.jp

電 話：03(3274)0924

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村證券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村證券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村證券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村證券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村證券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします

当社で取り扱う商品等へのご投資には、各商品等に所定の手数料等（国内株式（国内 REIT、国内 ETF を含む）取引の場合は約定代金に対して最大 1.365%（税込み）（20 万円以下の場合は、2,730 円（税込み））の売買手数料、投資信託の場合は銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等）をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失が生じるおそれがあります。商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

国内株式（国内 REIT、国内 ETF を含む）の売買取引には、約定代金に対し最大 1.365%（税込み）（20 万円以下の場合は 2,730 円（税込み））の売買手数料をいただきます。国内株式（国内 REIT、国内 ETF を含む）を相対取引（募集等を含む）によりご購入いただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。ただし、相対取引による売買においても、お客様との合意に基づき、別途手数料をいただくことがあります。国内株式（国内 REIT、国内 ETF を含む）は株価の変動により損失が生じるおそれがあります。

外国株式の売買取引には、売買金額（現地約定金額に現地手数料と税金等を買う場合には加え、売りの場合には差し引いた額）に対し最大 0.9975%（税込み）（売買代金が 75 万円以下の場合は最大 7,455 円（税込み））の国内売買手数料をいただきます。外国の金融商品市場での現地手数料や税金等は国や地域により異なります。外国株式を相対取引（募集等を含む）によりご購入いただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。ただし、相対取引による売買においても、お客様との合意に基づき、別途手数料をいただくことがあります。外国株式は株価の変動および為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。

信用取引には、売買手数料（約定代金に対し最大 1.365%（税込み）（20 万円以下の場合は 2,730 円（税込み）））、管理費および権利処理手数料をいただきます。加えて、買付の場合、買付代金に対する金利を、売付の場合、売付け株券等に対する貸株料および品貸料をいただきます。委託保証金は、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の額が必要です。信用取引では、委託保証金の約 3.3 倍までのお取引を行うことができるため、株価の変動により委託保証金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。詳しくは、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、等をよくお読みください。

野村證券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商） 第 142 号

加入協会／日本証券業協会、（社）日本証券投資顧問業協会、（社）金融先物取引業協会

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村證券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村證券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村證券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村證券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村證券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。